

令和 3 年度
事業報告書

社会福祉法人大田区社会福祉協議会

はじめに

令和3年度を振り返りますと、秋口に第5波の感染が沈静化の一方で、年末からオミクロン株の拡大など、1年を通じて新型コロナウイルスとの戦いが続きました。

当社会福祉協議会では、前年度に引き続き、生活福祉資金貸付事業（緊急小口資金・総合支援資金特例貸付）の窓口として相談や申請業務を行うとともに、自宅療養者等への食料配布や、ワクチン接種希望者への支援（予約の代行、接種会場への同行等）にも取り組みました。

地域福祉コーディネーター等の充実や、18地区それぞれに配置した職員の活動が定着し、地域から多様なご意見・アドバイス等をいただいています。そして、そのような声の中から生まれたアイデアを、迅速に事業化することや、部署間の連携による事業展開を図ることが活発になってきました。

これからも、新たな変異種に対する備えは怠れません。また、世界経済の動向次第では、日用品の価格上昇が、家計にさらなる負担をもたらすおそれもあります。

原因も性質も多様化・複雑化する地域の生活課題に向けて、当社会福祉協議会は、組織の力量を高めながら、専門機関や地域団体等様々な社会資源を、有機的に繋げるプラットフォーム（基盤・土台）として活動してまいります。

事務事業の実施状況

令和3年度における事務事業の実施状況について、社会福祉法人会計基準に基づいた事業の区分ごとに整理して報告いたします。

事業の区分	
1	法人運営
2	地域福祉事業
3	在宅福祉事業
4	ボランティア活動推進事業
5	助成事業
6	生活福祉資金貸付
7	受験生チャレンジ支援貸付
8	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付
9	特別貸付
10	地域福祉権利擁護事業
11	福祉サービス利用支援
12	成年後見
13	リーガルサポート
14	おいじたく
15	障害者総合支援事業
16	歳末たすけあい運動事業
17	公益事業
18	収益事業

※ 「No.9 特別貸付」については、3ページに掲載しました。

特集 コロナ禍に対する取り組み

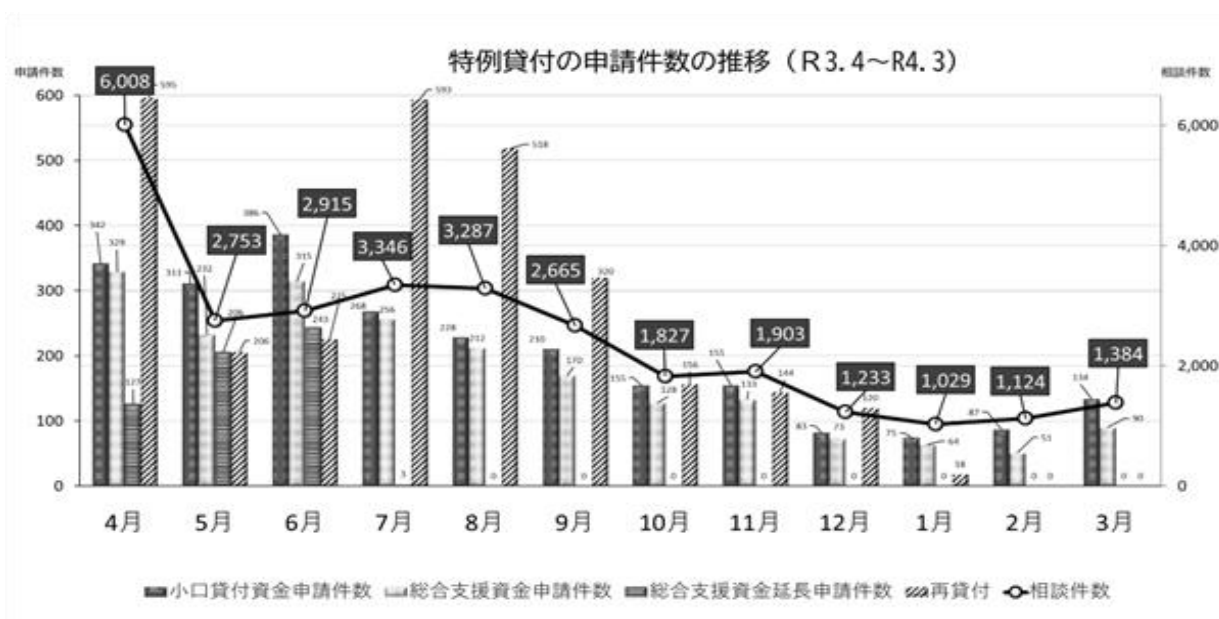
1 経済的な支援（生活福祉資金特例貸付の実施）

令和2年3月から開始された生活福祉資金特例貸付は、たびたび貸付申請期間が延長され、令和4年3月末までとなりました。

この貸付制度は、当座の生活費等を貸し付ける緊急小口資金（最大 20 万円）、さらに3か月間継続的に貸し付けを行う総合支援資金（最大 60 万円）があります。また、たびたびの感染の波を受けて、貸付期間の延長や再貸付の措置が取られ、最大 200 万円まで貸し付けが行なわれました。

当社会福祉協議会では、この2年の間に 11 万件を超える相談と 2.7 万件余の貸付申請に対応し、決定された貸付総額は 97 億円を超えました。

グラフは、令和3年度中の相談件数の推移等を示したものです。令和3年3月に、月間で最高の 13,825 件の相談件数を記録した後、4月に入り 6,000 件にまで半減しました。しかし、感染の波を追いかけるように増減をしており、1月以降は、相談件数は緩やかに上昇しています。



令和2年3月25日から同4年3月31日までの累計

相談件数	延 114,050 件
貸付決定	延 22,755 件 (貸付申請 27,349 件)
貸付総額	97 億 6,592 万 7,000 円

2 ワクチン接種の支援（予約代行・会場への同行）

大田区では、令和3年5月21日から、65歳以上の高齢者のワクチン接種予約受付が始まりました。自治会や町会の有志の方が会館や特別出張所を使っている様子などが報道されていましたが、当社会福祉協議会でも、おた地域共生ボランティアセンターに「絆サポーター」として登録されている方に呼びかけ、予約の代行やワクチン接種会場への同行を支援いたしました。



【実施状況】

令和4年3月31日現在

活動内容	実績
接種の予約	52件
接種会場への同行	75件

3 食料品等の支援（自宅療養者・濃厚接触者）

コロナ感染による自宅療養者、同居者等が自宅待機中に食料や日用品が不足する問題に対して、当社会福祉協議会では、大田区や福祉・医療関係者等と連携して、令和3年度中に2回食料支援を行いました。

夏から秋にかけて、区内で約2,000人の自宅療養者が見込まれていましたので、赤い羽根共同募金からの配分金を原資に食料品等を購入し、9月下旬から11月末日まで配布しました。

また、オミクロン株が拡大した1月以降は、大田区から事業委託を受けて、濃厚接触者やその同居者を対象に、1月下旬から3月末日まで取り組みました。

【実施状況】

○配布数 計 840 人

1 法人運営

1 運営管理

(1) 理事会開催状況

第 1 回			
決議があったとみなされた日		令和3年6月11日(金)	
議 事 の 内 容	番 号	内 容	同意の可否
	第1号議案	次期評議員候補者の推薦について	同 意
	第2号議案	次期役員候補者について	同 意
	第3号議案	評議員選任・解任委員会委員の選任について	同 意
	第4号議案	令和2年度事業報告について	同 意
	第5号議案	令和2年度決算について	同 意
	第6号議案	令和3年度資金収入支出予算(第一次補正)について	同 意
	第7号議案	役員等賠償責任保険契約について	同 意
	第8号議案	重度訪問介護事業運営規程の廃止について	同 意
第9号議案	令和3年度定時評議員会の招集について	同 意	
事 務 局 報 告 等	1	今後の予定について	
	2	2021 夏・特別斡旋販売のご案内	

第 2 回			
開 催 日 時		令和3年7月5日(月) 13時30分~14時30分	
会 場		プラザ・アペア リモナ	
議 事 の 内 容	番 号	内 容	
	第1号議案	会長・副会長・常務理事の選任について	
	第2号議案	評議員選任・解任委員会委員の選任について	
事 務 局 報 告 等	1	常務理事報告	
	2	今後の予定について	

第 3 回

開催日時	令和3年11月2日（火）13時30分～14時30分	
会場	プラザ・アペア リモナ	
議 事 の 内 容	番 号	内 容
	第1号議案	社会福祉法人大田区社会福祉協議会職員就業規則及び職員給与規程の一部改正について
	第2号議案	社会福祉法人大田区社会福祉協議会嘱託職員就業規則の一部改正について
	第3号議案	社会福祉法人大田区社会福祉協議会契約職員就業規則の一部改正について
	第4号議案	社会福祉法人大田区社会福祉協議会専門職員就業規則の一部改正について
	第5号議案	令和3年度歳末たすけあい運動の実施について
	第6号議案	令和3年度資金収入支出予算（第二次補正）について
	第7号議案	令和3年度第2回評議員会の招集について
事 務 報 告 等	1	会長報告
	2	常務理事報告
	3	今後の予定について

第 4 回

決議があったとみなされた日	令和4年1月28日（金）		
議 事 の 内 容	番 号	内 容	同意の可否
	第1号議案	令和3年度歳末たすけあい運動実施報告について	同 意
	第2号議案	職員給与規程の一部改正について	同 意
	第3号議案	感謝状の贈呈について	同 意
	第4号議案	令和3年度第3回評議員会の招集について	同 意

第 5 回			
決議があったとみなされた日		令和4年3月10日（木）	
議事の内容	番 号	内 容	同意の可否
	第1号議案	令和3年度第3回評議員会の招集の件	同 意

第 6 回			
開 催 日 時		令和4年3月28日（月） 13時30分～14時30分	
会 場		プラザ・アペア リモナ	
議事の内容	番 号	内 容	
	第1号議案	令和3年度資金収入支出予算（第三次補正）について	
	第2号議案	令和4年度大田区社会福祉協議会会員増強運動の実施について	
	第3号議案	令和4年度大田区社会福祉協議会事業計画について	
	第4号議案	令和4年度資金収入支出予算（当初）について	
事務局等報告	1	会長報告	
	2	常務理事報告	
	3	今後の予定について	

（2）評議員会開催状況

第 1 回（定時評議員会）			
決議があったとみなされた日		令和3年6月30日（水）	
議事の内容	番 号	内 容	同意の可否
	第1号議案	次期役員の選任について	同 意
	第2号議案	令和2年度事業報告について	同 意
	第3号議案	令和2年度決算について	同 意
	第4号議案	令和3年度資金収入支出予算（第一次補正）について	同 意

第 2 回		
開催日時	令和3年11月29日(月) 14時～14時45分	
会場	大田区民プラザ アプリコ 地下展示室	
議事の内容	番号	内 容
	第1号議案	令和3年度資金収入支出予算(第二次補正)について
事務局等	1	令和3年度歳末たすけあい運動の実施について 他

第 3 回			
決議があったとみなされた日	令和4年3月31日(木)		
議事の内容	番号	内 容	同意の可否
	第1号議案	令和3年度資金収入支出予算(第三次補正)について	同 意
	第2号議案	令和4年度大田区社会福祉協議会事業計画について	同 意
	第3号議案	令和4年度資金収入支出予算(当初)について	同 意

(3) 評議員選任・解任委員会開催状況

第 1 回		
開催日時	令和3年6月15日(火) 14時～14時45分	
会場	大田区社会福祉協議会 7階多目的室	
協議事項等	1	評議員の選任について(全評議員改選による選任)

(4) 各種委員会等開催状況

①大田区地域福祉活動計画推進委員会

開催日時	令和3年6月9日(水) 14時～15時10分		
開催方法	Zoomによるオンライン形式		
審議事項	1	令和2年度実績報告等について	
	2	令和3年度の方向性について	

②地域協議会

開催日時	令和3年6月9日(水) 15時20分～16時		
開催方法	Zoomによるオンライン形式		
審議事項	1	地域共生社会の構築に向けた社会福祉法人に期待される役割	
	2	コロナ禍における「地域における公益的な取組み」について	

③助成金審査委員会

開催日時	令和3年6月22日(火) 10時～12時		
会場	大田区社会福祉協議会 7階 多目的室		
審議事項	1	委員長・副委員長の選任	
	2	令和3年度地域活動団体助成先の審査(59団体)	

④権利擁護業務推進委員会

開催日	主な協議内容	開催日	主な協議内容
4月23日	法人後見業務報告	10月22日	法人後見業務報告
5月28日	法人後見業務報告	11月26日	法人後見業務報告
6月25日	法人後見業務報告 市民後見人受任案件	12月17日	法人後見業務報告
7月16日	新規受任案件 法人後見業務報告	1月28日	法人後見業務報告(書面)
8月27日	法人後見業務報告	2月25日	新規受任案件 法人後見業務報告
9月17日	法人後見業務報告	3月25日	法人後見業務報告
開催方法	原則として、毎月1回18時30分からオンライン形式にて開催。		

⑤市民後見活動推進部会（年4回 15時30分から開催）

開催日	主な協議内容	開催日	主な協議内容
7月13日	令和3年度市民後見人養成講習について	11月9日	成年後見業務補助員面談及び選考実施要綱改正について
9月14日	市民後見人養成講習及び実務実習状況・市民後見人活動及び監督業務等について	2月8日	成年後見業務補助員面談及び推薦可否について
会場	大田区役所（201・202）、遠藤ビル、KNビル		

2 組織強化・企画広報

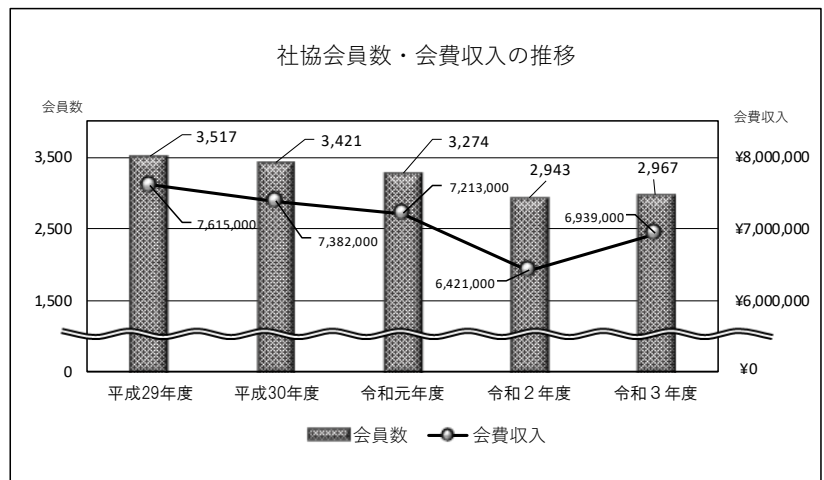
（1）会員加入状況

①会員数・会費収入の実績

社協が推進する地域福祉活動において、社協会員は活動の基盤です。会員数は、個人と団体を合わせたものです。団体は、自治会・町会のほか、ボランティア団体、企業、NPO 団体等に加入いただいています。

《令和3年度における会員数と会費収入》

	会員数	会費収入
個人正会員	2,520	3,322,000
個人特別会員	28	321,000
団体賛助会員	92	273,000
団体特別会員	234	2,684,000
施設会員	93	339,000
合計	2,967	6,939,000



（2）寄附金収入の状況

寄附金は、地域福祉活動を推進するための資金として活用しています。昨年度からの傾向として、遺言によるものや相続を契機としてのご寄附が増えていきます。

年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
金額	¥13,141,363	¥3,043,905	¥2,766,079	¥70,651,008	¥26,757,934

(3) 広報紙「おおた社協だより」の発行

新聞折込のほか、行政や福祉関係団体の窓口等でも配布しています。

	発行時期	発行部数	主な記事
第 88 号	2021. 7	150,000 部	私たちを知ってください 地域福祉コーディネーター
第 89 号	2021. 9	150,000 部	自分らしい 老いじたく
第 90 号	2021.12	150,000 部	～ 絆サポーター ～
第 91 号	2022. 3	150,000 部	コロナ禍での取り組みを振り返って

(4) ホームページ等

生活福祉資金特例貸付を中心に閲覧されています。

年間のアクセス数	178,620 件
----------	-----------

(5) 職員の育成

人材育成基本方針に基づき、人材育成プロジェクトチームを設置し、専門家の助言を受けながら、人材育成研修を進めました。

《組織共通》

	内 容	講 師	開催日	参加
中堅職員研修 (主事・主任)	地域住民とともにインクルーシブな社会をめざす	東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター理事長 田島誠一 氏	11月6日	24名
リーダー職員研修 (係長以上)	地域住民とともにインクルーシブな社会をめざす		11月13日	10名
組織強化研修	組織力を強化するために ～社協の課題と取り組みの基本～		動画視聴	34名

《地域福祉コーディネーター研修》

研修名	内 容	講 師	回 数	対象者数
地域福祉 コーディネーター 研 修	事例検討、他地区の活動事例等	日本社会事業大学 准教授 菱沼幹男 氏	年間 7回	地 域 福 祉 コ ー デ ィ ネ ー タ ー 13名
スキルアップ 研 修	①スクールソーシャルワーカー との合同研修 ②居住支援協議会との勉強会	*****	各1回	地 域 福 祉 コ ー デ ィ ネ ー タ ー 13名

その他、全国社会福祉協議会、東京都社会福祉協議会にて開催される地域福祉コーディネーター養成研修に参加し、専門職としてのスキル向上に取り組んでいます。

3 連絡調整その他

(1) おおた福祉ネット(大田区社会福祉法人協議会)

すべての社会福祉法人が、地域共生社会の実現の担い手として、その専門分野の枠を超えて、地域で公益的な活動に取り組むことが、法律的に定められています。そこで大田区内で社会福祉事業に取り組む社会福祉法人は、「大田区社会福祉法人協議会」を組織して活動しています。

①全体会・幹事会

	全体会	幹事会
日時	令和3年10月6日(水) 14時～16時	必要に応じて随時開催
内容	《講演会》 『重層的支援体制整備事業について』 十文字学園女子大学教授 今井伸氏	○講演会等の企画立案・進行 ○行政等関係機関・団体との連絡調整
補足等	参加 14法人 40名	《幹事団体》 池上長寿園 大田幸陽会 大洋社 有隣協会 大田社協

②ふくしのしごと市(社会福祉法人の合同就職面接会)

東京都社会福祉協議会やハローワーク大森と連携して、就職相談と面接を目的とした「ふくしのしごと市」を開催しました。

	説明
開催日時	令和3年11月27日(土) 13時～15時30分
会場	池上会館
求人法人	13法人
来場者	43名
採用者数	5名



2 地域福祉事業

1 地域連携強化

(1) つどいの場支援事業

当社会福祉協議会は、サロン活動や居場所活動、子ども食堂など、住民の自発的な意思に基づき、無料又は低額な料金で、広く住民が参加できる地域福祉活動を「つどいの場」と位置付けて、運営に関する助言や活動費の助成、活動中のケガ等の補償制度への加入等を通じて、安定的な活動の実現をサポートしました。

実	活動費助成	69団体
績	補償制度加入	45,110名

(2) 民生委員児童委員自主活動支援

地域の課題について、地区民生委員児童委員協議会（地区民児協）単位で取り組むための経費の一部を支援しました。

(3) こども食堂連絡会

当社会福祉協議会と、区内でこども食堂を実施している団体で連絡会を作り、安全な運営、資金や食材確保等に関する情報交換、寄附された食材の配分等を行いました。また、大田区こども食堂マップを作成し、地域に周知しました。



(4) フードドライブ事業

ご家庭等にある未利用の食品の寄附を受けて、こども食堂や、経済的生活困窮状態になった世帯に、無償で提供する「フードドライブ」を実施しました。

「ドライブ」という言葉には「～運動」という意味があり、意識すれば「余剰の食品を寄附する運動」となります。





👤 フードドライブイベント実施状況

未利用食品ご寄附の呼びかけは、自治会町会や商店会のみならず、大田区の特別出張所と連携しながら、地域主体で行ったほか、グランデュオ蒲田店や日本航空(株)など、大田区内の企業にもご協力いただきました。

2 地域共励

(1) 敬老の日祝品等贈呈事業

健康と長寿を祈念して、敬老の日の前後に、区の敬老祝金贈呈にあわせて、当社会福祉協議会から小学生の手作りのメッセージカードを贈呈しました。祝い品やメッセージカード等に要する経費は、歳末たすけあい運動を通じてお寄せいただいた募金を活用しています。

対象	人数	内容
88歳の方	3,334名	小学生が作成したお祝いメッセージカード
100歳の方 最高齢の方	176名	

(2) 児童見守り激励事業

地域社会全体で施設入所児童に対し、季節の行事等を通じて、お互いに助けあう意識を高めていくことを目指して取り組みました。

趣旨	内容	実施状況
プレゼント贈呈	クリスマスに、母子生活支援施設と児童養護施設（4か所）で生活している児童等に贈呈。	合計 119名 未就学児 41名 中学生 17名 小学生 45名 高校生 16名
入学祝品贈呈	生活保護世帯で、小学校、中学校に入学する児童に祝い品を贈呈。	合計 107名 図書カード(5,000円)

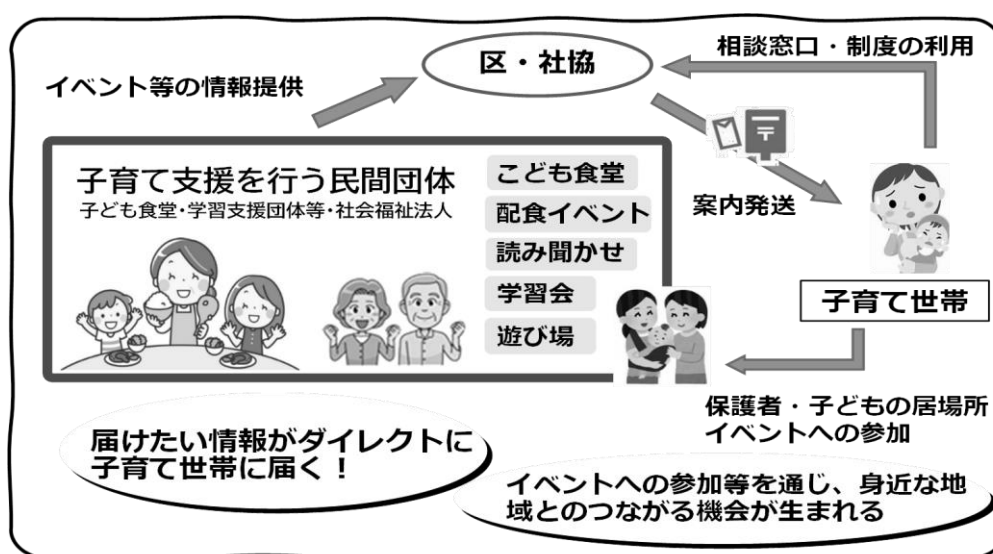
3 子どもの生活応援ネットワーク事業

(1) 子どもと地域をつなぐ応援事業（大田区受託事業）

子育て中の要支援世帯等に対して、行政の相談窓口や地域活動団体が行うイベント等の情報を、当社会福祉協議会からダイレクトにお届けし、各種制度やサービスの案内、相談等を行っています。

令和3年度は、こども食堂や学習支援等に関する情報を9回（1回あたり平均2,422世帯）提供しました。この結果、延22団体において、開催したイベント等に情報を受けた世帯の方の参加があり、「楽しかった」等のお声が寄せられました。また、参加者から相談等を受けた団体から連絡を受けて、専門の相談機関へ仲介することもできました。

【事業のイメージ】



4 連携基盤づくり

(1) 助けあいプラットフォーム

コロナ禍の中ではありましたが、蒲田西地区のみなさまと、マスク着用、手指消毒徹底、アクリル板の設置等の感染防止対策を講じながら、活発に意見交換等を行いました。

【実施状況】

- 開催回数 3回
- 参加人数 延72名

プラットフォーム
 地域の中で、多様化・複雑化する様々な課題を、地域のメンバー（住民、自治会・町会、地域活動団体、行政、専門家、社会福祉法人等）で問題点を共有し、必要に応じて新しいサービスの創出や、解決策を制度化していくために、話し合いを重ね実践する場が「プラットフォーム」です。

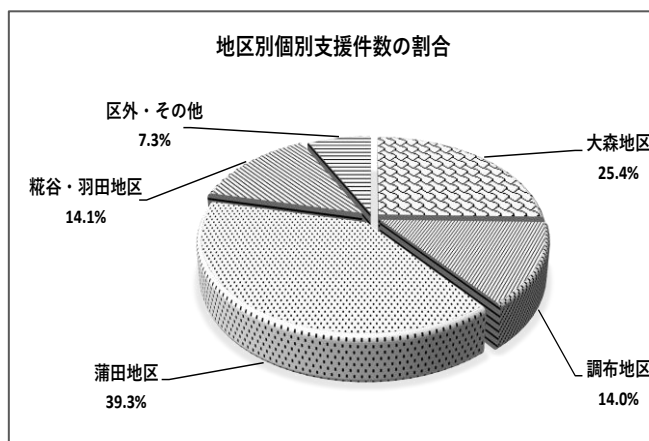


(2) 地域福祉コーディネーター活動の強化

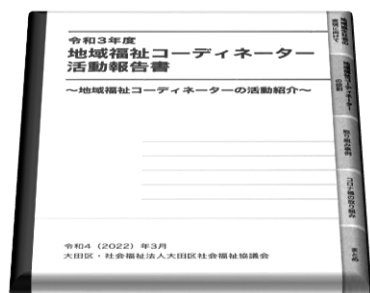
大田区の地域福祉課管内（基本圏域）を単位として、地域福祉コーディネーター5名に加えて、地域包括支援センターを運営する他の社会福祉法人と連携のもとで、同センターに配置されていた「地域ささえあい強化推進員」8名を当社会福祉協議会に迎え、計13名の体制で業務を進めました。

対応した相談件数は昨年度に比べよりほぼ2倍の1,843件でした。

地域別の個別支援件数は、蒲田地区が全体の40%弱を占めました。事務所が蒲田であることで、「相談のしやすさ」があると考えられます。また、大森地区では25.4%と比較的高い割合を示しています。



同地区の中では、地域の掲示板や回覧板により、地域福祉コーディネーターを紹介いただきました。それが相談窓口の周知につながっています。このことは、地域との良好な協力関係が、地域福祉コーディネーターの活動の基盤であることを示唆します。



なお、1年間の地域福祉コーディネーターの活動の様子等について冊子（2,500部）にまとめたほか、令和4年2月13日（日）には、オンライン形式にて「地域福祉コーディネーター実践報告会」を開催しました。

5 地域福祉活動団体支援事業

歳末たすけあい運動募金から配分される「地域福祉活動費」を活用して、幅広く地域福祉活動に取り組む民間団体を支援するため、複数あった助成制度を統合し、助成内容の柔軟性や透明性等を高めました。

【実施状況】

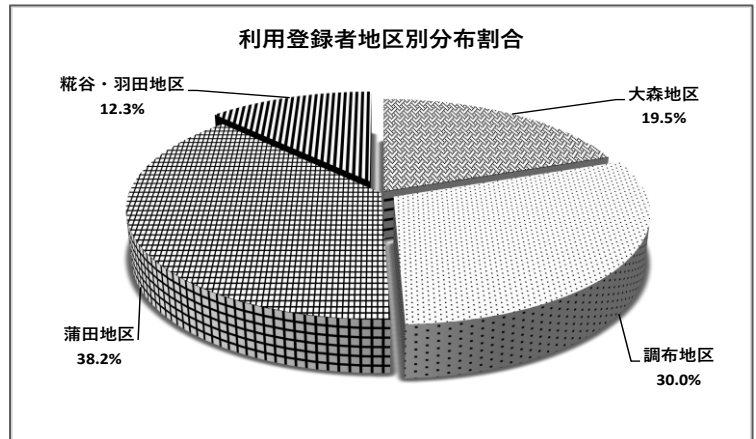
	助成の主旨	助成額	助成団体数
通年事業助成	年間を通じて行う地域福祉活動経費を助成	年間10万円以内	48団体
イベント助成	地域福祉を目的とするイベント経費を助成		6団体
トライアル助成	地域福祉推進のモデル的事業の経費を助成	年間20万円以内	5団体

3 在宅福祉事業

1 家事介護サービス等

有償家事援助サービス等は、住民の互助の精神を基調として、低額な料金で福祉サービス等を提供し、安定した在宅生活をサポートすることを旨としています。現在、当社会福祉協議会では、これらの活動に従事される方を「絆サポーター」と呼称しています。

令和4年3月31日現在で、339名の方が当社会福祉協議会に登録されており、そのうちの約83%は女性が占めています。これらの方々が年間で1万件を超える活動に携わりました。



(1) 絆サポート

介護保険制度に基づく「介護予防・生活支援サービス事業（訪問型）」や、産前産後の方を対象に、居室の掃除や買物代行、調理等のサポートを行いました。

【実施状況】

○活動回数 9,545 件

謝礼
30分
¥500

(2) 助っ人サービス

電球の交換や、扇風機・暖房器具の収納等、短時間のちょっとした作業のサポートを行いました。

【実施状況】

○活動回数 42 件

謝礼
20分以内
¥300

(3) ほほえみ訪問事業

高齢の方や心身に障害のある方のご自宅へ、絆サポーターが月2回訪問し、安否の確認等を行いました。

【実施状況】

○活動回数 956 件

無料

(4) ほほえみごはん

絆サポーターが子育て世帯に月2回食料を届けながら、子育てに関するサポートに取り組みました。

【実施状況】

○活動回数 904 件

無料

2 車いす貸出

(1) 車いす無料貸出

病気やケガなどによる緊急時や、余暇活動等で一時的に車いすを必要とする方に対して、最長2か月間無料で貸し出すサービスです。年間で632件の利用がありました。

(2) 車いすステーション事業

大田区内の企業等の協力を得て車いす無料貸出しの拠点（車いすステーション）として、最長1か月間無料貸し出しを行いました。ステーションは区内に41か所あります。

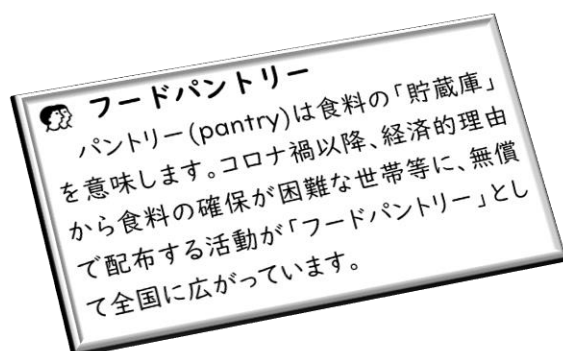
3 生活援護

(1) ささえあい食料支援（フードパントリー事業）

フードドライブ事業でご寄附いただいた品々や、歳末たすけあい運動配分金で購入した食料品を、緊急または一時的な事情により、生活が困窮している世帯に、無償で提供しました。特にコロナ禍が著しかった令和3年度は、特別の体制を組んで配布場所を拡げました。

【実施状況】

- 配布数 836世帯
- 配布場所 当社会福祉協議会窓口のほか、有隣協会、シニアステーション糶谷（西糶谷）、やまて福祉会、JOBOTA（大森北）にて実施しました。



(2) 使用済み切手を活用した食糧支援

住民等から寄せられた使用済み切手を整理売却して白米（800kg）を購入し活動資金の一部に充当しました。

お米は、NPO法人グッドネーバーズジャパンと協力して、ひとり親家庭（約400世帯）に配付しました。

【実施状況】

- 売却益 85,247円（切手1kgあたり約600円）



4 紙おむつ支給

(1) 心身障害者紙おむつ支給事業

重度心身障害者手当等を受給している3歳から64歳までの方に、紙おむつを年間4回（5月・8月・11月・2月）支給しました。

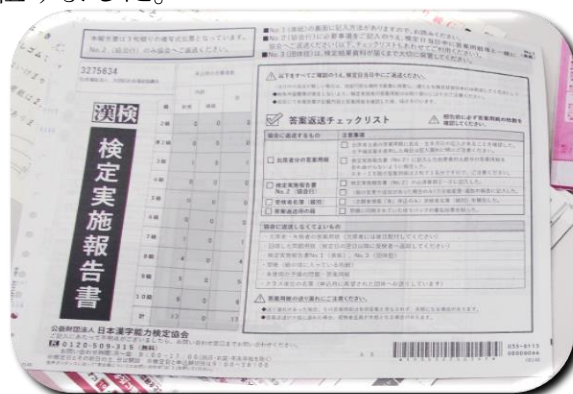
5 子どもの学習支援事業

(1) おおたスマイルプロジェクト（れいんぼう事業）

区内の社会福祉法人（大洋社・池上長寿園・大田幸陽会）と連携して、「子どもの体験型学習支援」等に取り組みました。

①体験型学習支援

ひとり親家庭の児童・生徒を対象として、学習や健康、職場体験などの様々な活動の中から、なりたい自分の将来像のイメージ作り、英語検定や漢字検定にも挑戦し、資格取得を通じた自己肯定感の涵養、「生きる力」の習得に取り組みました。



【実施状況】

○活動回数 36回（1回あたりの平均参加者10名）

(2) 子どもの居場所づくり事業

①のびのび事業

小学校低学年の不登校児に焦点を当てて、区内の教育センター等と連携して、学習と多様な経験の機会を提供しました。

【実施状況】

○実施回数 5回

○参加者数 19名

○協力 教育センター、自主学習支援会ベストキッズ、
コミュニティスペース西蒲田、NPO法人こあら村

②わくわくホーム事業（実施期間：春・夏・冬休み）

夏休み等長期の休暇期間を活用して、子どもたちに様々な経験をする機会を提供しました。

【実施状況】

○実施回数 1回

○参加者数 8名

○協力 教育センター、子ども家庭支援センター、
自主学習支援会ベストキッズ

4 ボランティア活動推進事業

1 ボランティア活動普及

(1) ボランティア登録・需給調整・相談助言等

ボランティア活動紹介や、活動に関する相談等に対応しました。

		人数等
ボランティア登録	個人	130名
	団体	106団体
ボランティア保険加入者数		3,372名

項目	実績
活動に関する相談等	91件
ボランティアの紹介依頼	22件
広報紙等への掲載依頼	69件

(2) 広報紙等の発行



広報紙「ボランティアコミュニケーション」を、隔月で年間5回(1回6,500部)発行し、行政機関、福祉関係団体、区内の金融機関や企業等の窓口にて配布したほか、「ボランティアセンターガイド」も作成して、ボランティア活動の普及啓発を進めました。

(3) 福祉体験学習用器材の貸出

「高齢者疑似体験セット」、「妊婦体験セット」や車いす、白杖、点字器等を学校や企業等での学習、研修用の教材として貸し出しを行いました。

【実施状況】

○貸出件数 31件

(4) ユニバーサルスポーツ体験事業

ユニバーサルスポーツ用具(ボッチャ、カーレット)と講師をセットで、無料で派遣する事業を行いました。

5名以上のグループからお申し込みを受け付けています。

【実施状況】

○ボッチャ 15団体に派遣

○カーレット 11団体に派遣



カーリングに似ているカーレット

(5) 災害ボランティアセンター運営強化等

大田区が策定している「地域防災計画」の中には、当社会福祉協議会も区と協働・連携して災害ボランティアセンターの運営等に従事することが予定されています。大規模災害への懸念が高まる中、日頃からの災害ボランティアの養成訓練等は、その重要性が高まっています。

【実施状況】

①講座・訓練等

住民の災害ボランティア活動への理解と関心を高め、実践に結び付く活動に取り組みました。

	災害ボランティア 初めて講座	災害ボランティア体験会	
開催日	令和3年9月10日(金)	令和3年10月9日(土)	令和3年11月27日(土)
会場	大田区社会福祉センター 4階 会議室	田園調布せせらぎ館	久原小学校 久が原会館
参加者数	27名	33名	25名

②災害ボランティアバンク登録受付

災害ボランティアセンターが実際に円滑に機能するように、協力者の情報等をあらかじめ登録し、発災時に活用するための「バンク機能」を整備いたしました。

登録者用災ボラLINEも開設しています。

○個人登録 49名

○団体登録 4団体 (大田幸陽会・明治安田生命・雪谷法人会・東京南郵便局長会)



(6) 企業の地域貢献活動との連携

「企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)」について、具体的な活動に取り組む企業と多様なスタイルで連携協力しています。

①物品のご寄附等

50を超える企業のみなさまから、事業資金をはじめ、食料品や書籍のご寄附や、地域活動団体等が開催した各種イベントへのご協力をいただきました。

店舗内で常設のフードドライブ

ファミリーマート、マルエツ、ダイエー、ピーコックの一部店舗では、常時フードドライブコーナーを設け、お客様等に未利用食品を募り、当社会福祉協議会にご寄附くださいました。



絵本をいただき ワクワク

②企業との地域貢献活動に関する意見交換会を開催

地域貢献活動に関心のある企業と、区内のNPO団体、こども食堂運営者、ロータリークラブのみなさまと、オンライン形式で意見交換会を開催いたしました。

【実施状況】

○参加企業 13社 ○ゲスト等 6団体

地域の新たな“力” 企業向けオンラインイベント(6月30日開催)

■開催の目的
昨今、企業の地域貢献活動の動きが活発になってきています。おまたたごへもコロナ禍の中、少しでも地域のために活動したいという想いとご支援を数多くいただきました。企業の皆さんのもつ強みが地域に加われば、こんなに素晴らしいことはないと思います。今後の活動のヒントになるような機会になればとの思いから、開催しました。

■当日の主な参加者

参加企業: 13企業		ゲストスピーカー: 3団体	
参加企業一覧		オブザーバー	ゲストスピーカー
アサヒ飲料(株)	パリタジ(有)株	東京経済調査ロータリークラブ	おれたラーメンこども食堂
(株)祥設計	廣カウズ	NPO法人 ボセイデン&チルドレン	だんだんワンコインこども食堂
明治生命生命保険(株)	カネハツ食品(株)	名古屋名産ロータリークラブ	読み聞かせネットワークヒッポ
東京海上自動ファイナンス(株)	新ジェイコム東京		
新マルエツ	新ダイエー		
第一生命保険(株) 産直部	新ファミリーマート		
三原食品(株)			

■当日の様子

「今日の内容」
 (1) 社内外を通じて活動の紹介
 (2) 企業の地域貢献活動の事例紹介
 (3) 区内の企業等から
 (4) 地域貢献活動から活動紹介
 ・読み聞かせネットワークヒッポ
 ・おれたラーメンこども食堂
 ・だんだんワンコインこども食堂

「企業が聞く“おれたの子ども食堂”」
 新ワンコインワンコインこども食堂

ゲストに地域活動団体の方をお呼びし、企業の皆さんに地域の活動を知っていただく機会にもなります。



2 ボランティア活動に対する助成

(1) 食事サービス助成事業

大田区が定めた「大田区社会福祉協議会が行う食事サービス助成事業補助要綱」に基づき、65歳以上又は一定の障害認定を受けている方を対象として食事サービス活動を行うボランティア団体に経費の一部を助成しました。

【実施状況】

○助成団体数 5団体
 ○助成総額 3,516,200円 (8,120食分)

5 助成事業

1 障害者団体助成

(1) 心身障害者団体運営費助成

大田区から補助金を受けて、団体の運営経費に対して助成しました。

○助成実績 7団体（総額 1,060,000円）

2 地縁団体等助成

(1) シニアクラブ助成

シニアクラブの活動に対して、活動費等の助成をしました。

○助成実績

- ・単位シニアクラブ 151団体（総額2,183,000円）
- ・大田区シニアクラブ連合会
 - ゲートボール大会等行事助成 1件（総額155,000円）
 - 研修会費用助成（含：ブロック） 1件（総額296,625円）

(2) 青少年対策地区委員会助成

歳末たすけあい運動募金を原資として、11地区の青少年対策地区委員会に助成しました。なお、コロナ禍の影響から、7地区については、活動計画を変更等により、助成金の申請を辞退されました。

○助成実績 11団体（総額 1,100,000円）

3 施設・専門機関等助成

(1) 児童レクリエーション助成

児童養護施設が主催する入所児童に対するレクリエーション活動に要する経費を助成しました。

○助成実績 1施設（総額 440,000円）

4 その他の助成

(1) 更生保護・その他の関係団体助成

「社会を明るくする運動」等について、経費を助成しました。

○助成実績 2団体（総額 342,000円）

6 生活福祉資金貸付

東京都社会福祉協議会からの受託事業です。民生委員児童委員と連携して、低所得世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的とした貸付事業です。

○貸付等の状況 延相談件数 2,017 件 貸付決定件数 128 件

資金の種類		件数	貸付決定金額
福祉資金		120	150,764,500 円
内 訳	教育支援資金 ^{※1}	107	144,367,500 円
	生活保護世帯エアコン等購入資金	8	703,000 円
	障害者用自動車購入費	2	4,876,000 円
	転宅資金、家賃更新料	2	616,000 円
	住宅改修資金	1	202,000 円
緊急小口資金 ^{※2}		8	650,000 円
不動産担保型生活資金		0	0 円
総合支援資金 ^{※3}		0	0 円
合 計		128	151,414,500 円

※1 について

教育支援資金の貸付決定金額には、翌年度以降の貸付額も含まれています。翌年度以降の貸付けは、在学を確認しながら分割で交付します。

※2・3 について

これらの貸付制度のうち、コロナ禍に起因する場合に限定して貸付しているものが「特例貸付」です。貸付条件等が異なります。

生活福祉資金貸付事業の歴史

生活福祉資金貸付事業は、全国で行われている貸付制度で、その特徴は、社会福祉協議会と民生委員が、連携して借受人をサポートすることです。

この貸付制度の歴史は、昭和 27 年までさかのぼります。戦後の混乱が色濃い時代、生活困窮者への民生委員による生活指導等を行う「世帯更生運動」が始まりました。

しかし、指導助言等だけでは、生活再建に限界があることが認識されるようになり、昭和 30 年から低利で貸付を行う「世帯更生資金貸付制度」が始まりました。このときに書類管理等の事務を社会福祉協議会が担うことになりました。

平成2年には、事業名を「生活福祉資金貸付制度」に改められ、今日に至っています。

7 受験生チャレンジ支援貸付

低所得世帯の中学3年生・高校3年生又はこれに準じる方の塾代と高校・大学等受験料について、無利子で貸し付けを行いました。高校・大学等に入学した場合、申請により返済免除となります。

》貸付実績《

	中学3年生	高校3年生	計
本年度	253件	123件	376件
前年度	244件	106件	350件

8 ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

東京都社会福祉協議会からの受託事業です。

ひとり親家庭の親で、区が実施する訓練促進給付金の支給を受ける方を対象に入学準備金・就職準備金、また母子・父子自立支援プログラムの策定を受け自立を目指す方を対象に住宅支援資金の貸付申請を受け付けました。

	申請件数		
	入学準備金	就職準備金	住宅支援資金
本年度	4件	3件	2件
前年度	3件	2件	(未実施)

以下の場合申請により返済が免除されます。

- 入学準備金、就職準備金
資格取得から1年以内に東京都内で就職し、その資格が必要な業務に5年間就業継続した場合
- 住宅支援資金
貸付を受けた日から1年以内に就職または高い所得のところに転職等をして、1年間継続して就業した場合

9 特別貸付

【3ページの「特集 コロナ禍に対する取り組み 1 経済的な支援（生活福祉資金特例貸付の実施）」をご覧ください。】

10 地域福祉権利擁護事業

1 地域福祉権利擁護事業（東京都社会福祉協議会受託事業）

軽い認知症や知的障害、精神障害があるものの、本事業の契約内容を理解できる状態の方と委任契約を結び、預貯金の払い戻しや福祉サービス利用料の支払い等を支援しました。

○利用契約件数	40 件（令和4年3月31日現在）
新規契約	12 件
契約終了	10 件（後見等審判2件、区外転居3件、死亡4件、その他1件）

11 福祉サービス利用支援

1 利用者サポート

成年後見制度等権利擁護に関する相談や、老いじたく、死後の対応等関連分野に関する相談について、成年後見センター窓口で対応しました。

【実施状況】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
成年後見	2,507 件	2,676 件	3,052 件	3,083 件	4,655 件
老いじたく 遺言相続等	541 件	1,035 件	1,518 件	1,076 件	1,534 件
計	3,048 件	3,711 件	4,570 件	4,159 件	6,189 件

2 専門職等による無料相談

日常生活の中の様々な法律問題や、公正証書を活用した遺言相続についてなど、経験豊富な相談員が無料で相談に応じました。

【実施状況】

	相談員	開催日	活動実績
法律相談	弁護士	第1～4火曜日 10時～12時	開催回数 45回 相談件数 105件
公証相談	公証人	第3木曜日 10時～12時	開催回数 11回 相談件数 33件
精神障害者家族 等電話相談	精神障害者家族 連絡会	毎週土曜日 13時～16時	開催回数 50回 相談件数 92件

3 証書等預かりサービス（寄託契約に基づくサービス）

60歳以上の方等を対象として、定期預金証書等重要書類をお預かりしました。

【実施状況】

○契約件数 3件（令和4年3月31日現在）

4 福祉従事者向け研修

成年後見制度利用促進に向けて、成年後見制度の基礎理解と意思決定支援についての研修を実施しました。福祉従事者として本人の意思決定に関わる際の支援のあり方やプロセスの重要性等を学びました。

【実施状況】

日 時	内 容	受講者	開催方法
令和4年1月25日（火） 13時30分～16時30分	成年後見制度利用促進に向けて 「いちから学ぶ成年後見制度」	18名	Web 開催
令和4年2月14日（月） 13時30分～16時30分	成年後見制度利用促進に向けて 「そもそも意思決定支援って？」	24名	



今日的な課題 「意思決定支援」について

「意思決定支援」とは、自分の日常生活や社会生活等に関することについて、自分自身の「このようにしたい」という意思が反映された生活が営めるように支援することです。このことは、成年後見業務はもとより、福祉や医療の現場においても共通のテーマであり、裁判所、厚生労働省をはじめ医療職団体等複数の団体がガイドラインをまとめています。

これら多くのガイドラインの中で、本人主体の意思決定を支援するためには、利用者（患者）への深い理解、コミュニケーション能力、話しやすい場作りの工夫等が示されています。従事者には、これらの考え方を習得し、それぞれの実践の場で活かしていく力量が求められています。

5 支払い代行サービス

身体的な事情により外出が困難な方と委任契約を結び、預貯金の払い戻しや福祉サービス利用料の支払い等を支援しました。

【実施状況】

○契約件数 5件（令和4年3月31日現在）

12 成年後見

1 相談事業

(1) 窓口対応

- ①成年後見相談件数（再掲） 4,655 件
- ②弁護士等専門職団体への後見人等候補者紹介依頼件数 58 件

(2) 専門相談等

リーガル・サポート東京支部（司法書士の団体）との連携による定期的な無料相談のほか、高齢者・障がい者のための相談会を実施しました。

【実施状況】

	相談員	開催実績	備考
成年後見制度専門相談	司法書士	開催回数 29 回 相談件数 46 件	第 1, 2, 4 木曜日 10 時～12 時
高齢者・障がい者のための成年後見相談会		令和 3 年 9 月 4 日 相談件数 18 組	年 1 回 リーガルサポートと共催

2 権利擁護支援検討会議の開催

支援関係者が対応に悩むケースに対して、福祉・法律の専門職による中立的な立場から多角的な視点で本人の権利擁護支援の必要性や適切な支援内容、チーム支援のあり方等について検討を行いました。

【実施状況】

- 開催回数 11 回 相談件数 16 件

3 広報啓発

(1) パンフレットの配布等

「成年後見手続きガイド（法定・任意）」等を関係機関窓口を通じて配布したほか、「おおた社協だより」に、成年後見制度に関する解説した 4 コマ漫画を連載し、年間を通じて成年後見制度や関連する法律や各種制度、手続き等について紹介を行いました。



(2) 出前講座

自治会町会をはじめ、地域の様々な団体等の依頼を受けて、老いじたくや成年後見制度利用の進め方、遺言相続に関することなど、権利擁護に関する内容について、おおた成年後見センター職員を講師役として派遣しました。

また、包括支援センターや介護支援専門員等、福祉従事者を対象とした成年後見制度研修にも講師として参加するとともに、現場における課題等について、意見交換も行いました。

【実施状況】

○派遣回数 9回（内 Web 開催 5回） 延参加人数 285名

4 親族後見人等支援

(1) 親族後見人交流会

親族の成年後見人等に就任している方を対象に開催しました。

後見業務における日頃の疑問や不安について、弁護士から助言を受け、また適切な後見業務を行うための情報交換を行いました。



(2) 親族向け成年後見講座

親族で成年後見人等受任を検討されている方を対象に、後見業務の経験を持つ司法書士を講師として、この制度の概要や手続きの進め方、後見業務の実際について学習しました。

【実施状況】

日 時	内 容	受講者	会 場
令和3年7月7日（水） 9時30分～12時30分	成年後見制度のしくみ 申立書の書き方	11名	大田区社会福祉センター
令和4年3月5日（土） 9時30分～12時30分	成年後見人の職務 裁判所への報告等	6名	

5 法人後見業務

【実施状況】

	令和2年度末	令和3年度新規	令和3年度終了	令和3年度末	備 考
法定後見業務	25件	1件	4件	22件	
後見監督業務※	4件	2件	2件	4件	
任意後見契約	8件	0件	1件	7件	発効 2件

※ 東京都内では、社会貢献型後見人養成講習を経て、家庭裁判所から選任された成年後見人を、「社会貢献型後見人」と称しています。大田協は、社会貢献型後見人の業務を監督する成年後見監督人に就任しています。

6 社会貢献型後見人養成

養成講習や実務実習を通じて、成年後見人として必要な知識や態度を修得し、同じ地域に暮らす住民の目線で、本人に寄り添った支援を行うことのできる支援者の育成に取り組みました。

(1) 基礎講習

社会貢献型後見人（市民後見人）としての基礎的な知識を習得するため、基礎講習を実施しました。

【実施状況】

○受講者 3名

(2) 実務研修等

実務研修受講者や、すでに「社会貢献型後見人」として活動している成年後見人に対して、フォローアップ研修等を行いました。

【実施状況】

○受講者 3名

内 容	時間	講師
成年後見制度の基本理念と概要	3時間	司 法 書 士
①被後見人等への支援の基本的な視点 ②支援のための法律知識（民法等）	4時間	弁 護 士
障がいの理解と対象者理解	5時間30分	精 神 科 医 等
本人を支える制度と社会資源	3時間	社 会 福 祉 士
コミュニケーション演習（一般的）	1時間30分	社 会 福 祉 士
専門職後見人からの実践レポート	2時間	弁 護 士
様々な場面における成年後見人としての対応演習	3時間	司 法 書 士
社会貢献型後見人(市民後見人)の活動報告	1時間	市 民 後 見 人

7 遺言公正証書等作成支援事業

遺言公正証書を作成するとき必要となる証人を確保できない方のために、無料で証人を派遣しました。

【実施状況】

○証人派遣件数 30件

厚生労働省の動画に協力しました。

成年後見制度利用促進の一環として、厚生労働省が動画でみる法定後見制度「障害のある方や認知症の方における補助の活用編」を作っています。

当社会福祉協議会は、担当している被補助人とともに出演しました。



13 リーガルサポート

1 区民のための個別無料相談会の開催

東京司法書士会大田支部と共催で、成年後見・相続・遺言・登記等の個別法律相談会を実施しました。

【実施状況】

開催日	会場	参加人数
令和4年3月19日(土)	大田区役所本庁舎	講演会：20名 個別相談：39組

2 福祉従事者のための専門相談

第二東京弁護士会と協力して、福祉従事者を対象として、業務に関する内容の無料法律相談を定期的に関催しました。

【実施状況】

相談員	開催日	活動実績
弁護士	第4金曜日 15時～17時	開催回数 12回 相談件数 13件

14 老いじたく

1 老いじたく推進事業

「人生100年時代」と言われる今日、元気なうちから、将来に必要な備えや老後にやりたいこと、過ごし方など、自分の想いを整理しながら、具体的な備えのきっかけとなるよう取り組みました。

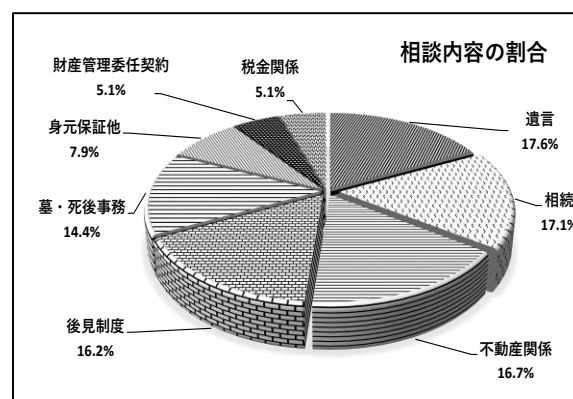
(1) 老いじたく相談会

司法書士会の協力のもと、老いじたく相談会を実施しました。相談内容は、遺言や相続・遺言・不動産関係で半数以上を占めました。

財産関係でのお悩みが多いことをうかがい知れます。

【実施状況】

○実施回数 22回 ○相談者 61人



(2) 老いじたくセミナー

相続・遺言など、老いじたくに役立つ知識等を、弁護士がテキストに沿って説明するセミナーを開催しました。

【実施状況】

日 時	内 容	受講者	会 場
令和3年7月26日(月) 9時30分～12時30分	①老いじたくパンフレットの項目に沿って説明。 ②個人ワークをとおして、自分の老いじたくについて考える。	16名	大田区役所2階
令和3年12月7日(火) 9時30分～12時30分		23名	

(3) 老いじたく合同相談会

老いじたく相談会やセミナーに参加された方々の、多岐にわたる疑問や不安に各分野の専門職(弁護士、司法書士、税理士等)が合同で助言する個別相談会を開催しました。

【実施状況】

日 時	受講者	会 場
令和3年9月29日(水) 13時30分～16時30分	19組	大田区消費者生活センター
令和4年2月10日(木) 13時30分～16時30分	9組	

(4) 老いじたくパンフレットの配布

これから具体的に老いじたくを進めていく方向けにパンフレット「デザインする自分らしい老いじたく」を8,000部作成・配布しました。



民法改正で変わる相続のしくみ

最近の民法改正により、成人年齢が18歳に引き下げられたことが話題となりましたが、数年前にも民法が改正されており、相続関係では、「特別の寄与の制度」や「配偶者居住権」等の新しいしくみが創設されました。

新しいしくみも視野に入れながら、「老いじたく」を進めていくことが大切ですので、専門家の積極的な活用をお勧めしています。

15 障害者総合支援事業

1 同行援護・居宅介護事業

(1) 同行援護

同行援護の支給決定を受けた方と契約により、視覚障害者の外出等を支援するガイドヘルパーを派遣し、移動時の安全の確保や必要な視覚的情報の支援（代筆・代読を含む）等を行いました。

【実施状況】

サービス提供時間	15,666 時間
月平均利用者数	64 名/月

(2) 居宅介護

居宅介護の支給決定を受けた方と契約により、ガイドヘルパーを派遣して通院のための移動の支援を行いました。

【実施状況】

サービス提供時間	1,108.5 時間
月平均利用者数	8 名/月

1か月平均で、49.3 人のガイドが活動に従事しました。

2 同行援護従業者養成研修（一般課程）

視覚障害者のガイドヘルパー養成を目的として、研修（講義 12 時間、演習 8 時間）を開催しました。

研修期間	申込者	修了者
令和 3 年 10 月 8 日（金） 10 月 16 日（土） 10 月 23 日（土）	12 名	9 名



3 スキルアップ研修

視覚障害者ガイドヘルパーの技術の向上を目的として、スキルアップ研修を開催しました。

【実施状況】

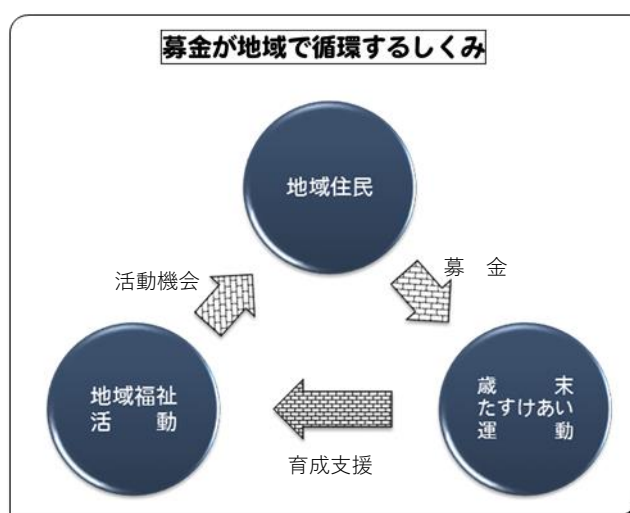
開催日	テーマ等	参加者
令和 3 年 11 月 12 日（金）	コロナ禍における情報提供と支援 講師：福喜多 恭子 氏 (NPO 法人神奈川県視覚障害者福祉協会事務局長)	17 名

16 歳末たすけあい運動事業

コロナ禍における「歳末たすけあい運動」実施について、「地域活動における感染拡大予防ガイドライン」に基づき、自治会町会、民生委員児童委員協議会、行政等にそれぞれの状況に応じて、ご協力いただきました。

		金額	内容等
募 金 総 額		37,754,764 円	自治会町会取扱い 37,490,522 円 窓口受付等 264,242 円
募 金 の 使 い 途	見 舞 金	2,242,527 円	① 在宅で生活されている重度障害のある方 ・638名 金3,000円 計1,914,000円 ② 見舞金配送料 計328,527円
	事 務 費	3,764,617 円	募金袋、ポスター印刷代等
	都共募納付金 (地域福祉活動費)	31,747,620 円	残額を東京都共同募金会に納付しました。 なお、次年度に同額が大田社協に配分されますので、地域福祉活動の資金に充当します。

- 募金総額は、昨年度より1,807,291円増となりました。
- 歳末たすけあい運動から配分される地域福祉活動費を活用して、募金が豊かな地域福祉活動を育み、地域福祉活動から生まれた成果が住民に還元する「循環のしくみ」の構築を目指しています。
- 見舞金の贈呈については、令和3年度に募金が減少したことから、今年度より重度障害をお持ちの方のみに見舞金を贈呈することといたしました。従来行っていた要介護5の方の介護人への贈呈は、昨年度をもって終了いたしました。



17 公益事業

1 無料職業紹介事業等

概ね 55 歳以上の方を対象に、就業及び多様な地域活動等に対応できる拠点として事業を実施しました。

(1) 無料職業紹介事業

【実施状況】

		平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
①	求人開拓 (件)	2,664	2,866	2,662	2,022	2,179
②	求人開拓人数 (人)	6,796	7,734	7,333	6,085	5,747
③	新規求職者 (人)	678	582	890	775	990
④	再来求職者 (人)	1,347	1,037	1,250	918	1,068
⑤	延来所者数 (人)	2,025	1,619	2,140	1,693	2,058
⑥	就職者数 (人)	275	178	168	86	124
⑦	就職率 (%) (⑥/③×100)	40.6	30.6	18.9	11.1	12.5

(2) 就業促進事業

【実施状況】

ア 合同就職面接会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から入場予約制として、参加企業数を絞り込み、面接会を実施しました。

期 間	企業数	応募者	面接者	就職者	会 場
11月9日(火) ～10日(水)	10社	33名	延38名	7名	大田区消費者 生活センター
3月8日(火)	6社	19名	延27名	7名	大田区民プラザ

イ ミニ就職面接会

予約制により、求人依頼の多いマンション管理・清掃・警備・介護等の企業を中心に面接会を実施しました。

期 間	企業数	応募者	面接者	就職者	会 場
7月7日(水) ～9日(金)	6社	11名	延10名	3名	大 田 区 社会福祉センター
9月14日(火) ～17日(金)	8社	10名	延15名	5名	

ウ 再就職支援セミナー

就職活動や再就職に必要な知識等に関するセミナーを実施しました。

開催日	テーマ	参加者数	会場
6月29日(火)	社会参加に向けた活動	8名	大田区消費者生活センター
10月29日(金)	シニアの就職活動 (実践、履歴書・面接対策)	13名	
2月25日(金)		17名	

(3) 多様な働き方に対する支援事業

社会参加活動等、多様な働き方を希望する方に対しての相談を行いました。

【実施状況】

○相談者数 456名 (前年度 442名)

2 要介護認定調査事業

介護保険法に基づく要介護認定調査を、大田区を含む地方公共団体から受託して実施しました。

		件数	受託内容等		
受託件数		8,067件	新規 2,905件	更新 3,258件	区分変更 1,904件
	大田区	8,065件	新規 2,905件	更新 3,257件	区分変更 1,903件
	他区市町村	2件	新規 0件	更新 1件	区分変更 1件

18 収益事業

1 緊急通報サービス紹介事業

緊急通報サービスを提供する事業者に対して、そのサービスを希望する住民を紹介します。利用希望者と当該事業者間で利用契約が結ばれたときは、当該事業者から大田社協に紹介料が支払われます。収益は、社会福祉事業等の資金に充当しています。

【実施状況】

○紹介・契約件数 26件 (収入額 286,000円 @10,000+消費税)